

所属・氏名（総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：叢 麗）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	（ 報告・発表 ） 中医学の中で作業を用いた症例の考察	共	2004年6月	第38回日本作業療法学会	中国伝統医学の中で、現代作業療法に類似した作業を用いた治療法を、中国医学基礎理論と現代作業療法理論を用いて分析した。 （宮前 珠子，叢 麗） （共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
2	Meaningful Occupational in Care Health Facility ～ A case study of elderly's ADL with knees deformation and hemiplegia～	共	2013 年 9 月	The 8 th Beijing International Forum on Rehabilitation,	Li Cong and Tamako Miyamae 老人保健施設で総合的作業療法～重度膝関節拘縮を持つ脳血管障害後遺症の作業療法の効果についてのケーススタディ～ （共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
3	Development of the Elderly Version of Leisure-time Activity Enjoyment Scale, The 8 th Beijing International Forum on Rehabilitation, Sep. 13-15, 2013.	共	2013 年 9 月	The 8 th Beijing International Forum on Rehabilitation,	Toshihiro HONKE, Takashi YAMADA, Yoshikazu ISHII, Norikazu KOBAYASHI, Li CONG)高齢者の余暇活動の新たな評価方法についての研究 （共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
4	Therapeutic use of occupation in Traditional Chinese Medicine,	共	2014 年 6 月	16 th WFOT Congress 2014.	Li Cong and Tamako Miyamae 伝統中国医学と現代作業療法の統合についての試み（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
5	Wii を用いた上肢機能訓練の試み	単	2015 年 6 月	第 49 回日本作業療法学会	叢 麗 Wiiを用いた上肢機能訓練の試みについての研究
6	大学生の作業機能障害の実態調査～作業療法学専攻学生対象に～	共	2015 年 10 月	第 20 回作業療法教育集会（奈良）	叢 麗、國貞将志 作業機能障害に陥る学生に対して、早期に対応することを期待する。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
7	材質や形状の異なる椅子の座圧変化と心理的負担の関連性	共	2016 年 9 月	第 50 回日本作業療法学会	叢 麗、森政 瞳、網本修星 作業療法の臨床に役にたつ基礎研究になる。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）